

平成22年度 第38回 千葉県中学校バスケットボール選手権大会 総評

千葉県バスケットボール協会主催、の第38回千葉県中学校バスケットボール選手権大会は6月5, 6, 12, 13日の4日間、千葉県立館山運動公園体育館をメイン会場に熱戦が繰り広げられた。

男子のベスト4は新人戦優勝の船橋中を破った松戸四中(松戸)、新人戦3位の稲毛中(千葉)、ノーシードから勝ち上がってきた館山三中(安房)、辰巳台中(市原)の4チームとなった。そして男子決勝は、準決勝で松戸四中を下した稲毛中と、辰巳台中を下した館山三中との対戦となった。

決勝戦は、稲毛中がマンツーマンディフェンス、館山三中は2-1-2ゾーンディフェンスでスタート。巧みなパスワークから得点をする稲毛中に対し、館山三中は上山 小林のインサイドを軸にオフェンスを組み立てる。後半、館山三中は畠山のアウトサイド、上山のポストプレーで波に乗りかかるが、稲毛中も石川、榎のミドルシュートがきまり、最後まで白熱したゲームが展開される。最後は稲毛中が3Pを放つが入らず、決勝戦にふさわしい好ゲームは、地元館山三中の優勝で幕を閉じた。

女子のベスト4には、シード校として順調に勝ち上がってきた昭和学院中(市川・浦安)、印西中(印旛)、習志野一中(習志野)と、新人戦ベスト8だった八木が谷中(船橋)が残った。そして女子決勝には、八木が谷中を下した昭和学院中と、印西中を下した習志野一中が駒を進めた。

決勝戦では、昭和学院中は馬場・赤穂の高さを生かしたポストプレーやリバウンドで着実に得点していく。一方習志野一中も和田の3Pなどで反撃をするが、徐々に点差が開いていく。習志野一中は激しいディフェンスからの速攻などで必死に食らいつこうとするが、木村のミドルシュートや川原のシュートで加点し、追い上げを許さない。最後はオフェンス・ディフェンス共にリバウンドを押さえ、確実なプレーで得点を重ねた昭和学院中が65-40で、新人戦に続き、2大会連続の優勝を飾った。

TO指導や会場の準備など、開催地である安房地区の役員、関係者の皆様のご尽力により大会を無事終えることができました。心よりご協力を感謝いたします。

男子	優勝	館山市立第三中学校
	準優勝	千葉市立稲毛中学校
	第3位	市原市立辰巳台中学校 松戸市立第四中学校
	ベスト8	柏中 豊四季中 市川一中 船橋中
女子	優勝	昭和学院中学校
	準優勝	習志野市立第一中学校
	第3位	船橋市立八木が谷中学校 印西市立印西中学校
	ベスト8	葛飾中 福田中 東国分中 船橋中

文責 県中学生バスケットボール連盟
大橋 哲治(平川中)